

茨高は学習面でのサポートがとても手厚い

M.O.

お茶の水女子大学 文教育学部 言語文化学科 進学
東海村立 東海中学校 卒業

授業のレベルは比較的高いと思います。教科によっては頻繁に課題が出され、定期テストの範囲もかなり広がった印象です。実力がある生徒が集まるので、良い緊張感の中で勉強に臨める環境が整っています。苦手教科は放課後の課外授業で補完したり、担当の先生に相談してアドバイスをもらったりできます。勉強以外にも進路の相談や小論文の添削、面接の練習など、こちらから申し出れば様々なサポートをしてもらえます。また、継続して努力していればある程度の評価や内申がもらえますので、ぜひ日頃から頑張ってください。

私は競技かるた部に所属しており、普段は週に3回活動していました。メジャーな部活ではありませんが頻繁に大会があったため、程よい緊張感と楽しさをもって練習することができました。私は高入生なので、一貫生の友人との交流の中で一貫生の雰囲気を知ることができて良かったと思います。文化祭では百人一首についての問題をクイズ形式で解いてもらって景品を配ったり、実際にかかるたを取っているところを見てもらったりしました。当日には袴を着て校内を練り歩く人もいて、準備期間も含めとても華やかで良い思い出になりました。

茨高は学習面でのサポートがとても手厚く、先生方が生徒一人ひとりに親身になって授業をしてくれます。私は勉強の仕方や日々の学習への姿勢まで指導してほしかったので、茨高での学びはとても合っていると感じました。先生と生徒の距離も近く、放課後には廊下で談笑する姿がよく見られます。ちょっとした悩みや相談も、複数の先生と話すことで違った角度の意見が得られると思います。茨高は校舎も綺麗なため、自習する環境としても非常に良いです。朝から放課後まで自習室が開いているので、周りの生徒と一緒に集中して勉強できます。また、定期的に自由参加型のイベントが開かれていました。大学の説明会、海外大学の授業をオンラインで受けてプレゼンテーションを作成するプログラムや、西表島でフィールドワークを行う研修など、新しいことを学べる機会がたくさん転がっています。その他にも自分のやる気次第で様々なことに挑戦できますし、先生方はできる限りの手助けをしてくださると思います。一貫生とは、初めは部活動と大きな行事以外ではあまり関わることはありませんでした。3年生になると高入生と一貫生が混ざったクラス編成となり、そこで友人を作ることができます。1・2年生はほとんど高入生のみで授業を受けるため、クラスが離れても高入生同士の結びつきが強いままで、受験期間にはそれぞれが互いに支え合いながら頑張っていました。個人的に図書館が広いところが好きでした。蔵書数が多く幅広い内容の本が置いてあるので、興味のある分野を自ら進んで学ぶことができます。小説や物語も多く、国語の授業で気になる作品があったときはすぐに借りていました。

世界の様々な文学や文化表象を深く学びたいと思っています。大学進学後は広い視野と知的好奇心をもって資格取得や留学など様々なことにチャレンジし、いずれは興味のある学問の研究を進めたいです。